

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 4 日作成)

| | | | |
|------------------------------|---|-------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名 | 免震構造小委員会 | | 主 査 名：菊地 優 就任年月：2013 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (振動運営委員会) | | 委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕司 |
| 設 置 期 間 | 2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | 南海トラフ等の巨大地震への対応を主目的に、免震構造に関する最新の研究成果を集約し、社会に提示する。 初年度：免震構造に関する現状分析と未解決課題の抽出 2 年度：3.11 における免震構造のパフォーマンスを調査・整理 3 年度：過大地震入力に対する免震構造のあり方について検討 4 年度：シンポジウム・刊行物等による活動結果の公表 | | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：有 | | |
| | 主査：菊地優 (北海道大学) 幹事：小林正人 (明治大学)、近藤明洋 (鹿島建設) 委員：高山峯夫 (福岡大学)、秦一平 (日本大学)、人見泰義 (日本設計)、中西規夫 (日建設計)、濱口弘樹 (竹中工務店)、三輪田吾郎 (大林組)、福喜多輝 (清水建設)、荻野伸行 (熊谷組)、島本龍 (中部電力)、藤山淳司 (大成建設)、加藤秀章 (ブリヂストン)、犬伏徹志 (神奈川大学) | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 免震観測記録分析WG：2011 年東日本大震災における免震建物の公表観測記録を網羅的に収集・調査し、データベースを作成。(2015 年度で終了) | | |
| 2015 年度予算 | 470,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： | |

| 項 目 | 自己評価 |
|--|---|
| 委員会開催数 | 6 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画 | 1. シンポジウム「東日本大震災から 5 年 — 建築振動工学の到達点と残された課題」 (振動運営委員会全小委員会で共同) 参加者数 195 名 『同名資料』 |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 過大地震入力に対する最新の免震技術の集約、知見の整理を実施した。 (2017 年 1 月のシンポジウムに向けて、2016 年度も継続する) 2. 3.11 での免震観測記録の収集・分析を実施しデータベースを作成した。 (予定通り WG を終了) 3. 『Design Recommendations for Seismically Isolated Buildings』【電子書籍】の原稿を脱稿した。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. なし |